

追加型投信／海外／債券

JPM USコア債券ファンド (為替ヘッジあり、年1回決算型)

第 5 期 交付運用報告書

(決算日：2023年11月15日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「JPM USコア債券ファンド（為替ヘッジあり、年1回決算型）」は、去る11月15日に第5期の決算を行いました。

当ファンドは、米ドル建ての投資適格債券を実質的な主要投資対象とし、インカム収益の確保と信託財産の中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

第5期末(2023年11月15日)	
基準価額	8,219円
純資産総額	461百万円
第5期	
作成対象期間(2022年11月16日～2023年11月15日)	
騰落率	△5.4%
分配金(税込)合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIM USコア債券マザーファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」は「USコア債券マザーファンド(為替ヘッジあり)」または「マザーファンド」ということがあります。

(注) 「JPモルガン・ファンズ-USアグリゲート・ボンド・ファンド」は「米国総合債券ファンド」ということがあります。


〈お問い合わせ先〉

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

TEL 03-6736-2350

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

am.jpmorgan.com/jp

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。運用報告書(全体版)の閲覧方法: 上記URLにアクセス⇒画面右上の検索マークを選択⇒当ファンドの名称を入力して検索⇒運用報告書(全体版)を選択

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号

東京ビルディング

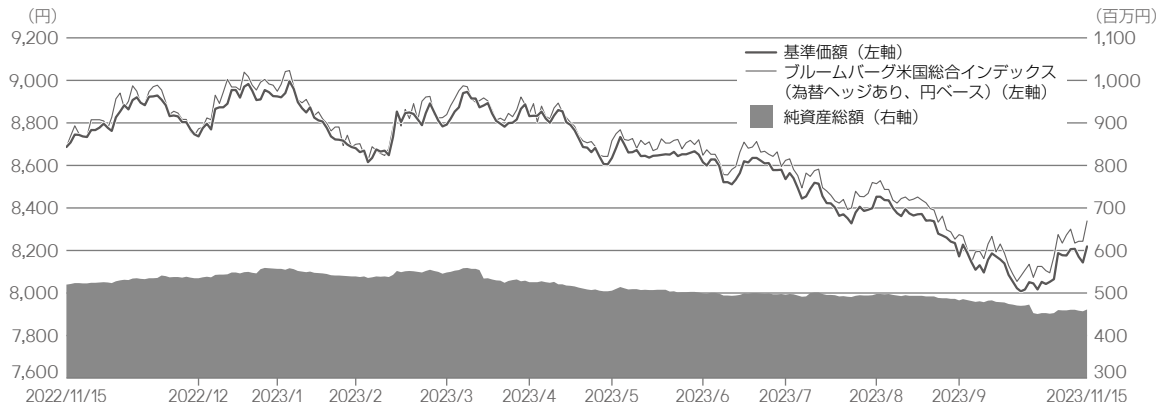
J.P.Morgan

ASSET MANAGEMENT

運用経過の説明

◎基準価額等の推移

(2022年11月16日～2023年11月15日)



期首： 8,686円

期末： 8,219円 (既払分配金(税込): 0円)

騰落率： △5.4%

(注) 基準価額は、信託報酬控除後です (以下同じ)。

(注) ブルームバーグ米国総合インデックス (為替ヘッジあり、円ベース) はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) ブルームバーグ米国総合インデックス (為替ヘッジあり、円ベース) は、当ファンドの実質的な主要投資対象であるJPM USアグリゲート・ボンド (Xクラス) (円建て、円ヘッジ) のベンチマークであり、当ファンドのベンチマークではありません (以下同じ)。

(注) 「Bloomberg®」およびブルームバーグ米国総合インデックス (為替ヘッジあり、円ベース) は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited (以下「BISL」) をはじめとする関連会社 (以下、総称して「ブルームバーグ」) のサービスマークであり、J.P.モルガン・アセット・マネジメントによる特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはJ.P.モルガン・アセット・マネジメントとは提携しておらず、また、J.P.モルガン・アセット・マネジメントが設定する商品を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、J.P.モルガン・アセット・マネジメントが設定する商品に関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません (以下同じ)。

◎基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドにおいて投資する米国総合債券ファンドの組み入れを高位に保つ運用を行いました。実質的に米国の国債、米国政府機関が発行または保証する債券、主として米国で経済活動を行っていると判断される企業が発行する社債、住宅ローン担保証券等、資産担保証券等の米ドル建ての投資適格債券を主要投資対象とする投資先の米国総合債券ファンドにおいては、保有債券の価格下落がマイナスに寄与し、基準価額を押し下げました。

◎1万口当たりの費用明細

(2022年11月16日～2023年11月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	74	0.858	(a)信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率
(投 信 会 社)	(14)	(0.165)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、目論見書、運用報告書等の開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(販 売 会 社)	(57)	(0.660)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、交付運用報告書の交付業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.033)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) そ の 他 費 用	48	0.562	(b)その他費用＝ $\frac{\text{〔期中のその他費用〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$
(監 査 費 用)	(2)	(0.022)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
(そ の 他)	(46)	(0.540)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用 当ファンドが組入れているJPM USアグリゲート・ボンド(Xクラス) (円建て、円ヘッジ)の運用報酬：純資産に対して年率0.45%
合 計	122	1.420	
期中の平均基準価額は、8,599円です。			

(注) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注) 各項目の費用はマザーファンドが組み入れている投資信託証券（投資信託受益証券及び投資証券）が支払った費用を含んでおらず、上記以外に間接的に負担している主な費用として、マザーファンドが投資している投資信託証券には以下のものがあります。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における費用等については「組入上位ファンドの概要」に表示しています。

① JPM US アグリゲート・ボンド (Xクラス) (円建て、円ヘッジ) (JPM US Aggregate Bond X (mth) - JPY (hedged))

事務管理報酬：実費（ただし、純資産に対して年率0.10%を上限とします。）

その他費用：有価証券の売買にかかる費用・税金、外貨建資産の保管費用、臨時で発生する費用、その他の税金等

② GIM ジャパン・マネーパール・ファンドF (適格機関投資家専用)

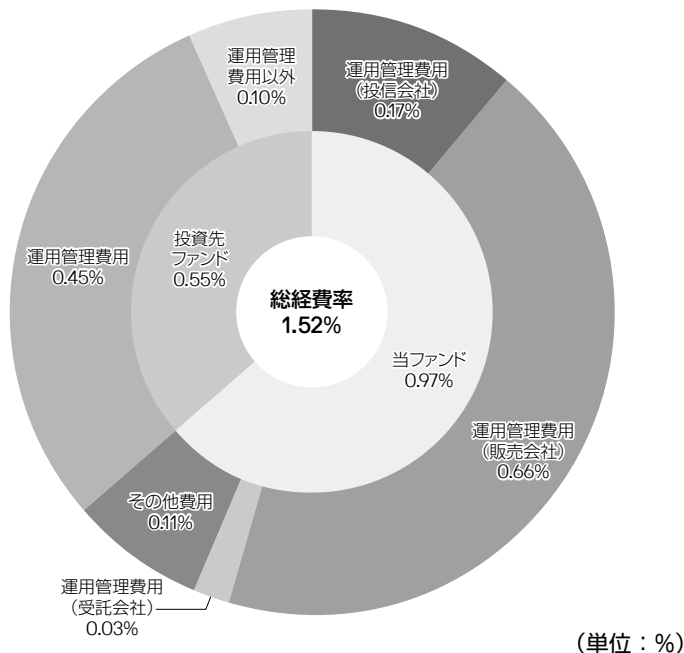
信託報酬：年率0.1045% (税抜0.095%)

監査費用：年率0.022% (税抜0.02%) ただし、年間330万円 (税抜300万円) を上限とします。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.52%です。



(単位：%)

総経費率 (①+②+③)	1.52
①当ファンドの費用の比率	0.97
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.45
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、US コア債券マザーファンド（為替ヘッジあり）において組入れている投資信託証券です。

(注) それぞれの投資先ファンドの費用は以下簡便法により算出した合計値です。

JPM US アグリゲート・ボンド (Xクラス) (円建て、円ヘッジ)：当ファンドの目論見書に記載した当該投資先ファンドの運用管理費用を上記②とし、当該投資先ファンドの直近の計算期末時点におけるTER (総費用率) を上記③とする簡便法

GIM ジャパン・マネーパール・ファンドF (適格機関投資家専用)：当該投資先ファンドの直近の計算期末時点における運用報告書1万口当たりの費用明細において用いた簡便法

(注) GIM ジャパン・マネーパール・ファンドF (適格機関投資家専用)の費用は、GIM マネーパール・マザーファンド (適格機関投資家専用) が支払った費用を含みます。

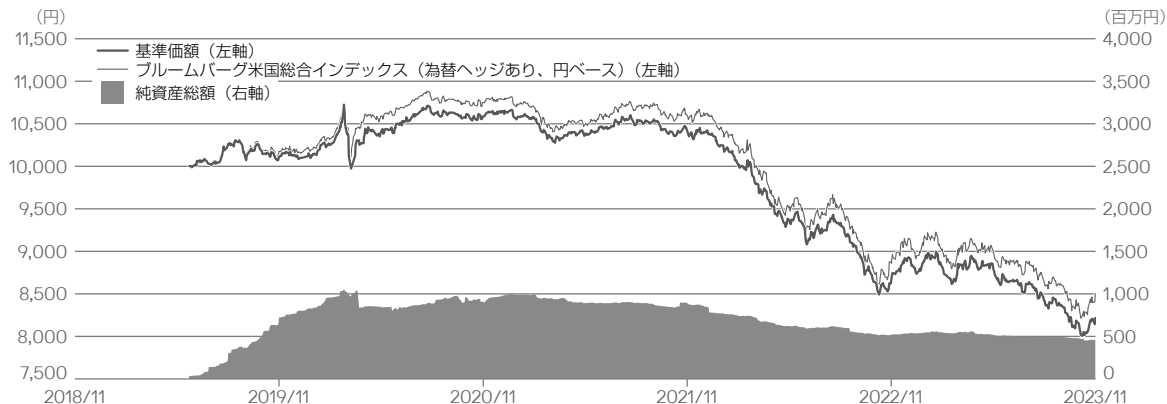
(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎最近5年間の基準価額等の推移

(2019年6月10日～2023年11月15日)



(注) ブルームバーグ米国総合インデックス（為替ヘッジあり、円ベース）はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2019年6月10日 設定日	2019年11月15日 決算日	2020年11月16日 決算日	2021年11月15日 決算日	2022年11月15日 決算日	2023年11月15日 決算日
基準価額(円)	10,000	10,115	10,591	10,405	8,686	8,219
期間分配金合計(税込)(円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率(%)	—	1.2	4.7	△1.8	△16.5	△5.4
ブルームバーグ米国総合インデックス (為替ヘッジあり、円ベース)騰落率(%)	—	1.8	5.6	△1.4	△16.4	△4.0
純資産総額(百万円)	33	723	896	891	519	461

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

【投資環境】

○債券市況

◆米国国債市場では、米国10年国債利回りが上昇（債券価格は下落）しました。期の前半では、FRB（米連邦準備制度理事会）の積極的な金融引き締め姿勢が意識されたことなどによる利回り上昇局面と、市場予想を下回る経済指標を背景とした利上げペースの減速観測や金融システム不安などを受けて利回り下落局面の狭間で、一進一退の動きとなりました。期の後半から10月末にかけては、堅調な経済指標やFRB高官らによる追加利上げを示唆する発言などを受けて利上げ観測が再浮上し、金利は上昇基調で推移しました。

◆米国社債市場については、期中、金融システム不安から信用スプレッドが拡大する局面もあったものの、堅調な経済指標を背景としたソフトランディングへの期待感から信用スプレッドが縮小し、リターンはプラスとなりました。

*米国社債市場の動向は、ブルームバーグ米国総合インデックスを使用しています。

【運用経過】

1) 基準価額の推移

- 当ファンド：基準価額の騰落率は-5.4%となりました。
- 組入ファンド：マザーファンドの基準価額の騰落率は-4.4%となりました。

2) 基準価額の主な変動要因

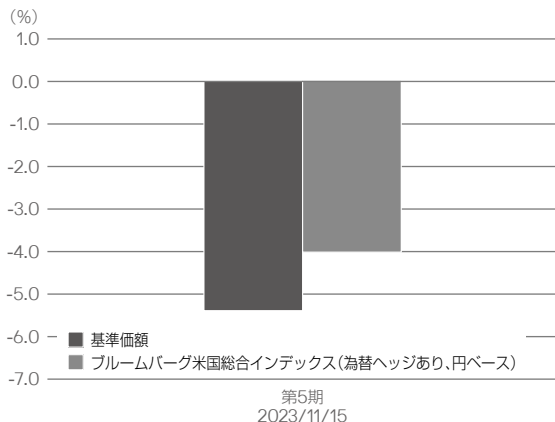
当ファンドは、マザーファンドにおいて投資する米国総合債券ファンドの組み入れを高位に保つ運用を行いました。実質的に米国の国債、米国政府機関が発行または保証する債券、主として米国で経済活動を行っていると判断される企業が発行する社債、住宅ローン担保証券等、資産担保証券等の米ドル建ての投資適格債券を主要投資対象とする投資先の米国総合債券ファンドにおいては、保有債券の価格下落がマイナスに寄与し、基準価額を押し下げました。

3) ポートフォリオについて

- 当ファンド
マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。
- マザーファンド
米国総合債券ファンド（外国投資証券）を高位に組み入れました。また、米国総合債券ファンドにおいては、債券種別で住宅ローン担保証券等への投資比率が上昇した一方、現金への投資比率が減少しました。

◎当ファンドのベンチマークとの差異

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 当ファンドはベンチマークがないため、ベンチマークに代えて当ファンドの実質的な主要投資対象であるJPM USアグリゲート・ボンド（Xクラス）（円建て、円ヘッジ）のベンチマークとの対比を記載しています。

◎分配金

基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、無分配としました。留保益の運用につきましては、委託会社の判断に基づき元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込)

項 目	第5期	
	2022年11月16日～2023年11月15日	
当期分配金		—
(対基準価額比率)		—%
当期の収益		—
当期の収益以外		—
翌期繰越分配対象額		963

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 円未満は切捨てです。当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

- ◆米国経済は力強い個人消費や堅調な労働市場などを背景に底堅さを見せていますが、長期的な政策金利の引き上げに加え、足元の米国債の利回り上昇によって金融環境のさらなる引き締まりが見られています。また、金融市場ではソフトランディングへの期待感が高まっていますが、金融引き締め の時間差効果を加味すると、米国経済は依然として景気後退に向かうリスクを有していると考えられます。このような環境下、ポートフォリオ全体のデュレーション(金利感応度)については小幅な積み増しを行っています。
- ◆セクター配分については、投資適格社債への投資比率を高めに維持するとともに、ファンダメンタルズ(基礎的条件)が比較的良好と見られる金融セクターを選好しています。証券化商品に関しては、バリュエーション(価格評価)の観点で魅力的であると考えられる住宅ローン担保証券への投資比率を引き上げています。

◎今後の運用方針

○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。

○マザーファンド

米国総合債券ファンドを主要投資対象とし、配当等収益を確保し、かつ信託財産の中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。今後も米国総合債券ファンドを通じて、米国の国債、米国政府機関が発行または保証する債券、主として米国で経済活動を行っている と判断される企業が発行する社債、モーゲージ・バック証券、アセット・バック証券等の米ドル建ての投資適格債券を主要投資対象とし、投資を行う方針です。

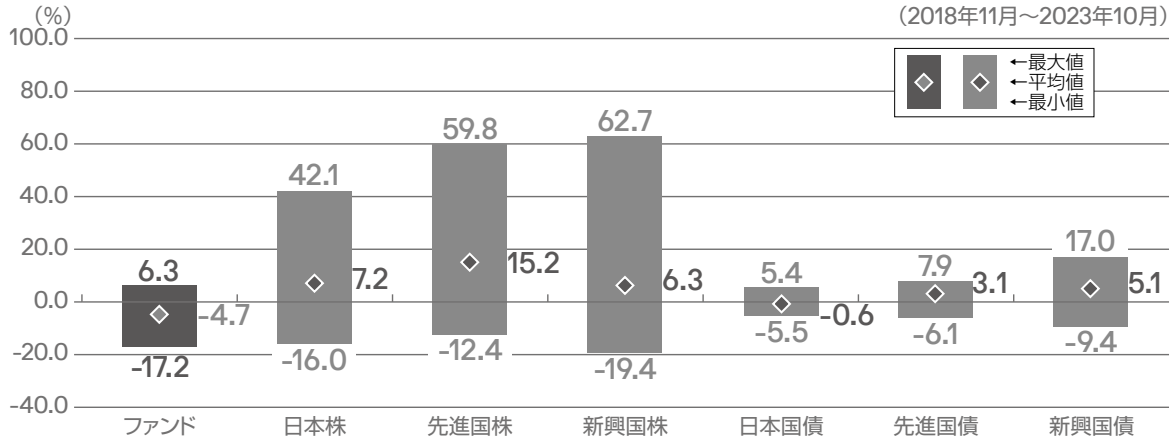
当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2019年6月10日から2029年11月15日（休業日の場合は翌営業日）までです。	
運用方針	マザーファンドにおいて、外国投資法人が発行する外国投資証券への投資を通じて、主として米ドル建ての投資適格債券に投資することにより、インカム収益の確保と信託財産の中長期的な成長をはかることを目的として運用を行います。 インカム収益とは、ファンドが実質的に受領する債券の利息を主とする収益をいいます。	
主要投資（運用）対象	当ファンド	GIM US コア債券マザーファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）を主要投資対象とします。
	マザーファンド	以下の2ファンドを主要投資対象とします。 ①JPモルガン・ファンズーUSアグリゲート・ボンド・ファンド 米国の国債、米国政府機関が発行または保証する債券、主として米国で経済活動を行っていると思われる企業が発行する社債、モーゲージ・バック証券、アセット・バック証券等の米ドル建ての投資適格債券を主要投資対象とします。 ②GIM ジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用） GIM マネープール・マザーファンド（適格機関投資家専用）を通じ、円建ての公社債を主要投資対象とします。 <small>モーゲージ・バック証券：主に住宅ローン債権を証券化したものです。 アセット・バック証券：クレジットカード債権や自動車ローン等の債権を証券化したものです。</small>
組入制限および運用方法	当ファンド	マザーファンドを通じて運用を行います。為替ヘッジは行いません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。投資信託の受益権等の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	ファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。米ドル建ての投資適格債券に投資する米国総合債券ファンドの組入比率を高位に保つとともに、円建ての公社債に投資する「GIM ジャパン・マネープール・ファンドF（適格機関投資家専用）」にも必ず投資します。為替ヘッジは行いません（投資先ファンドである米国総合債券ファンドにおいては、為替ヘッジを行います）。J.P.モルガン・アセット・マネジメント ^(※) のグローバルなネットワークを活用します。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。投資信託の受益権等の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年1回の決算時（11月15日（休業日の場合は翌営業日））に基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

(※) J.P.モルガン・アセット・マネジメントは、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーおよび世界の関連会社の資産運用ビジネスのブランドです。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

年間騰落率（毎月末時点）の平均と振れ幅を、ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。



(注)

- ファンドの年間騰落率（毎月末時点）は、毎月末とその1年前における基準価額を対比して、その騰落率を算出したものです。（月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。設定から1年未満の時点では算出されません。）
- 基準価額は、信託報酬控除後です。
- 代表的な資産クラスの年間騰落率（毎月末時点）は、毎月末とその1年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。（月末が休日の場合は直前の営業日を月末とみなします。）
- 代表的な資産クラスの年間騰落率の比較は、上記の5年間の毎月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。ただし、ファンドは設定から6年未満で、設定日から2020年5月末までは年間騰落率が算出されないことから、それ以降の毎月末時点における年間騰落率を用いています。
- ファンドは、代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。
- 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

○代表的な資産クラスを表す指数

- 日本株・・・TOPIX（配当込み）
- 先進国株・・・MSCI コクサイ指数（配当込み、円ベース）
- 新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債・・・NOMURA-BPI（国債）
- 先進国債・・・FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-エマージング・マーケット・グローバル（円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジを行わないものとして算出されたものです。なお、MSCI コクサイ指数（配当込み、円ベース）およびMSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、委託会社で円換算しています。

TOPIX（東証株価指数）は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。MSCI コクサイ指数およびMSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が発表しています。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc. は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc. に帰属しています。MSCI コクサイ指数（配当込み、円ベース）およびMSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、同社が発表したMSCI コクサイ指数（配当込み、米ドルベース）およびMSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）を委託会社にて円ベースに換算したものです。

NOMURA-BPI（国債）は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属しております。また、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-エマージング・マーケット・グローバルは、JPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJPモルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

当ファンドのデータ（2023年11月15日）

◎組入資産の内容

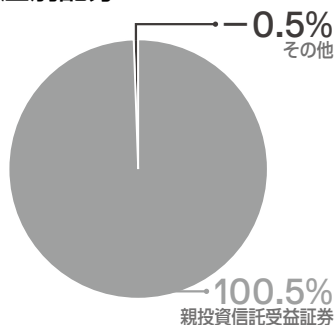
○組入ファンド等

USコア債券マザーファンド（為替ヘッジあり）	100.5%
その他	△0.5%
組入銘柄数	1銘柄

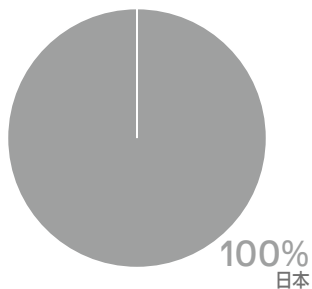
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) その他は現金・預金・その他資産（負債控除後）です（以下同じ）。

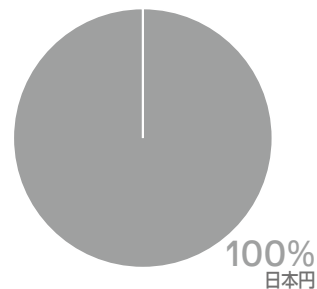
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。なお、当ファンドの実質的な投資内容は、次ページ以降をご参照ください。

◎純資産等

項 目	当期末
	2023年11月15日
純 資 産 総 額	461,365,475円
受 益 権 総 口 数	561,369,573口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額	8,219円

(注) 当期中における追加設定元本額は64,584,939円、同解約元本額は101,711,048円です。

◎組入上位ファンドの概要

◆US コア債券マザーファンド (為替ヘッジあり) (2023年11月15日)

○基準価額等の推移



(注) ブルームバーグ米国総合インデックス (為替ヘッジあり、円ベース) は、当ファンドの主要投資対象であるJPM US アグリゲート・ボンド (Xクラス) (円建て、円ヘッジ) のベンチマークであり、当ファンドのベンチマークではありません。グラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

○1万口当たりの費用明細

(2022年11月16日～2023年11月15日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (その他)	40 (40)	0.451 (0.451)
合計	40	0.451

期中の平均基準価額は、8,922円です。

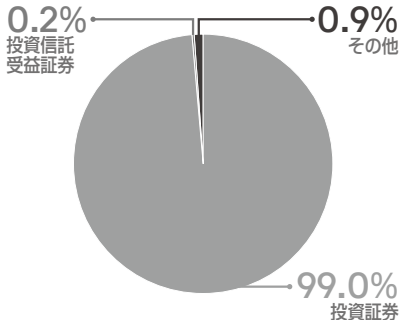
(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。
 (注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。
 (注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
JPM US AGGR BOND X(MTH) JPY HD	投資証券	日本円	ルクセンブルク	99.0%
GIMジャパン・マネープール・ファンドF (適格機関投資家専用)	投資信託受益証券	日本円	日本	0.2
組入銘柄数	2銘柄			

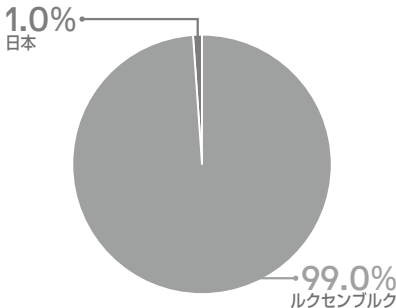
(注) 国(地域)は発行国または地域を表示しています。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しています。
 (注) 比率は純資産総額に対する割合です。

○資産別配分

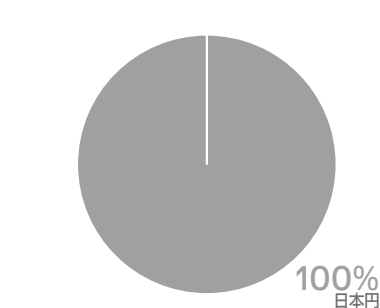


(注) 比率は純資産総額に対する割合です。
 (注) その他は現金・預金・その他資産(負債控除後)です。
 (注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。

○国別配分



○通貨別配分

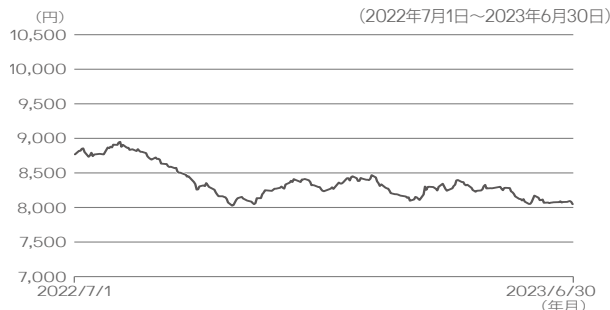


◎組入上位ファンドの概要

◆JPモルガン・ファンズ-USアグリゲート・ボンド・ファンド (2023年6月30日) JPM USアグリゲート・ボンド (Xクラス) (円建て、円ヘッジ)

米国の国債、米国政府機関が発行または保証する債券、主として米国で経済活動を行っていると判断される企業が発行する社債、モーゲージ・バック証券、アセット・バック証券等の米ドル建ての投資適格債券を主要投資対象とします。

○基準価格の推移



○直近計算期間におけるTER (総費用率)

0.10%

(注) TER (総費用率) は、運用にかかる費用の合計をファンドの純資産の日次平均に対する比率で表したものです。

運用にかかる費用の合計には、保管報酬、税金、その他費用が含まれております。当座貸越利息と実績報酬は計算対象から除いております。日々の純資産に対してかかる年率0.45%の運用報酬は含みません。

(注) 1万口当たりの費用明細が取得できないため、TER (総費用率) を表示していません。

○組入上位10銘柄

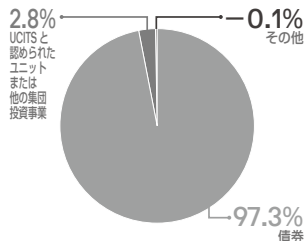
銘柄名	債券種別	比率
US Treasury 2.75% 31/07/2027	国債・政府機関債等	2.9%
JPMorgan USD Liquidity LVNAV Fund - JPM USD Liquidity LVNAV X (dist.)	UCITS	2.8
US Treasury 2.75% 15/11/2042	国債・政府機関債等	1.7
US Treasury 1.25% 30/04/2028	国債・政府機関債等	1.2
GNMA 2.5% 20/08/2051	住宅ローン担保証券等	1.1
US Treasury 0.5% 28/02/2026	国債・政府機関債等	1.1
US Treasury 2.875% 15/05/2032	国債・政府機関債等	1.0
US Treasury 2.125% 15/05/2025	国債・政府機関債等	1.0
US Treasury 2.75% 15/08/2032	国債・政府機関債等	1.0
US Treasury 1.75% 15/08/2041	国債・政府機関債等	0.8
組入銘柄数		2,138銘柄

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しています。

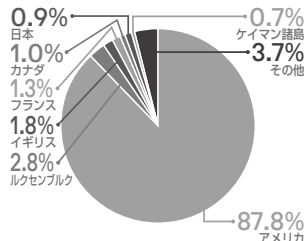
(注) 債券種別は、当社または当社グループの判断に基づき分類したものです。

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

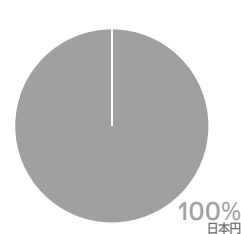
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 資産別配分のその他は現金・預金・その他資産 (負債控除後) です。国別配分のその他は現金・預金・その他資産 (負債控除後) を含みます。

(注) 国別配分は、監査済み年次報告書にもとづき表示しています。

(注) 通貨別配分は、監査済み年次報告書に開示されていないため、建値通貨を表示しています。

◎組入上位ファンドの概要

◆GIM ジャパン・マネーパブル・ファンドF (適格機関投資家専用) (2023年1月16日)

GIM ジャパン・マネーパブル・ファンドF (適格機関投資家専用) は、GIM マネーパブル・マザーファンド (適格機関投資家専用) を主要投資対象とします。

◎基準価額の推移



◎1万口当たりの費用明細

(2022年1月15日~2023年1月16日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 信託報酬	10	0.105
(投信会社)	(7)	(0.072)
(販売会社)	(1)	(0.011)
(受託会社)	(2)	(0.022)
(b) その他費用	7	0.073
(監査費用)	(2)	(0.020)
(その他)	(5)	(0.054)
合計	17	0.178

期中の平均基準価額は、9,976円です。

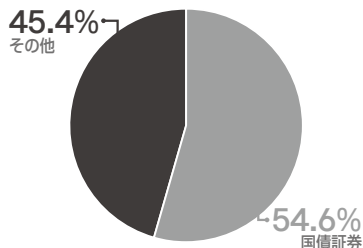
(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。
 (注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。
 (注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

◎マザーファンドの組入上位10銘柄

銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
第141回利付国債(5年)	国債証券	日本円	日本	29.2%
第340回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	13.9
第353回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	6.4
第116回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	2.7
第154回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	1.7
第129回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	0.9
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
組入銘柄数		6銘柄		

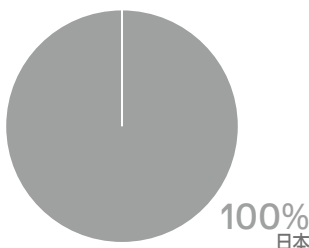
(注) 国 (地域) は発行国または地域を表示しています。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しています。
 (注) 比率は純資産総額に対する割合です。
 (注) ファンドはマザーファンドを通じて投資を行うため、マザーファンドの投資銘柄をファンドが直接保有しているものとみなし、ファンドの純資産総額に対する投資比率として計算しています (以下同し)。

◎資産別配分

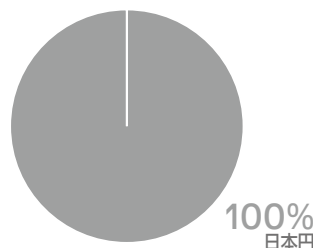


(注) 国別配分は発行国または地域を表示しています。
 (注) その他は現金・預金・その他資産 (負債控除後) です。

◎国別配分



◎通貨別配分



余白

余白

